

2 AIを戦略的に活用し共創を後押し

磐田市 AXビジョン2030の策定へ・AI市長ボットの開発

磐田市は人口減少と職員減少へ対応し、AIを行政業務へ積極的に活用して持続可能な行政運営を実現します。あわせて、市民・企業・地域団体・行政の共創にAIを活用し、新たな価値を創出して安心して便利なまちづくりを進めます。

この取組を推進するため、現在策定中の「磐田市 AXビジョン2030」を今月内に正式決定し、市長がCAIO（最高AI責任者）に就任して全庁一丸のAI活用を牽引します。技術の力を活かしつつ、人と人のつながりを大切に、誰もが安心して暮らせる磐田市を目指します。

共創の一環として、本市が生成AI分野で連携協定を結ぶSDT株式会社の協力を得て、市長の思考パターンや発言スタイルを学習したAI市長ボットを開発し、職員の活用を通じて効果検証を行います。

※AX（AI Transformation）とは、DXの一環としてAIを戦略的に活用し、行政運営や市民サービスを向上させていくこと。

1 目指す姿

人とAIが共創する、誰もが安心して暮らせる魅力あるまち

2 AXビジョンの概要

- ① 職員がAIを、行政業務を支えるパートナーとして活かす
 - ・AIにできることはAIに任せる
 - ・AIの活用で工夫したことや課題点を庁内に横展開する
- ② AIを市民に身近な存在になるように後押しする。
 - ・日常的な市民サービスにAIを活用し、市民が身近に感じられる機会を増やす
 - ・市民がAIを知り試せる場をつくる
- ③ 磐田市に関わる人がAIと共創し、地域の新たな価値を生み出す
 - ・AIを活用し対話内容を整理・可視化し、建設的な議論と合意形成を支援
 - ・多様な主体によるAIの社会実装を推進

3 AI市長ボットの概要

- ① 市が生成AI分野で連携協定を締結している「SDT株式会社」との共創により開発
- ② 市長の思考や判断基準を可能な限り忠実に再現するため、「広報いわた」の市長コラムや毎月職員向けに発信している「市長エッセイ」などのデータを学習させている
- ③ ボットの音声を市長の声質に近づけることで、より自然な対話を実現